

高校生の進学準備行動と学内外の友人関係

立脇洋介・山村滋・濱中淳子・鈴木規夫（大学入試センター）

入試方法や進学への意識が多様な進学中堅校の高校生を対象に、学習時間の変遷及び希望進学先の決定時期と、学内外の友人関係との関連を検討し、以下の2点を明らかにした。①進学準備の進んでいない2割の生徒は、一般入試で大学に進学することを漠然と考え、友人も類似した状態であった。②進学準備の進んでいる生徒は、基本的に進学準備の進んでいる学内友人が多いが、一部の生徒は学内友人の準備状態を物足りなく感じたり、テスト期間に学外友人をより重視したりしていた。

1 はじめに

1.1 高校生の進学準備行動

大学進学を志す高校生は、3年間の高校生活を通じて進学に向けた準備を行っていく。この際、高校の教員、家族、友人など、周囲の人々から受ける影響は少なくない。

東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター（2007）は、高校3年生を対象に進路に関する調査を実施している。その結果、高校3年の秋の時点で4割の生徒は家庭での学習を全くしていなかった。さらに、進路を考える上で影響があったものとして、半数が友人を挙げており、家族、大学のオープンキャンパスやガイドブックに次いで多かった。1990年から2006年の高校2年生の学習時間を比較した Benesse 教育研究開発センター（2013）によれば、偏差値が45未満と55以上の高校では学習時間がそれほど変化していないものの、45以上55未満の高校では30～50分程度減少している。清水・坂柳（1988）は、学年を問わず友人と進路について話す高校生の方が、進学に対する考えが成熟することを見出している。また、淵上（1984）は、進学志望の意思決定に影響を与えた人物と志望動機との関連を検討している。その結果、友人から影響を受けた高校生のうち、半数は大学での学業などを進学動機としていたが、3割

ほどは周りの人が進学するなどのモラトリアム機能を進学動機としていた。

1.2 本研究の目的

以上から、友人関係は進路選択や学習行動と関連するが、関係の質によって関連の仕方が異なるとまとめられる。本研究は、進学準備行動として学習行動と進路選択に注目し、高校生にとって最も身近な人間関係である友人関係との関連を検討する。具体的には、濱中ほか（2014）と同様の進学中堅校の高校生を対象としたパネル調査を分析する。入試の方法が多様な進学中堅校では、学習時間や進学に対する考え方も多様であるため、学内友人よりも学外友人から影響を受ける生徒も存在すると予想される。そのため、学内友人だけでなく学外友人も含めて、1年1学期から2年2学期までの学習時間の変遷や希望進学先の決定時期との関連を明らかにする。

2 方法

本研究では、全5回のパネル調査の一部のデータを使用する。調査全体の目的や詳細については、濱中ほか（2014）を参照。

2.1 調査対象校

埼玉県と千葉県のパネル調査で、指定校推薦

入試、公募推薦入試、AO入試など、一般入試以外の方法で多くの生徒が大学に進学する「進学中堅校」6校で調査を実施した。

2.2 調査時期と分析対象

2012年4月に各校に入学した生徒を対象に、高校1年の1学期と3学期、高校2年の2学期、高校3年の1学期と2学期の計5回質問紙調査を実施した。本研究では、高校2年2学期までの3回の結果を使用する。回答者数は、第1回が2051人、第2回が2026人、第3回が2027人であった。分析には、全ての調査に回答し、第1回から第3回の対応がついている1694人分のデータを使用した。

2.3 分析項目

①学習時間

自宅や図書館や塾など、学校の授業以外での学習時間を尋ねた。「テスト期間中ではない平日(ふだん)」「テスト期間中」のそれぞれについて、「まったくしない=1」「30分ぐらい=2」「1時間ぐらい=3」「2時間ぐらい=4」「3時間ぐらい=5」「4時間以上=6」から単一回答形式で回答を求めた。この質問は全ての回答を分析に用いた。

②希望進学先の決定の程度

卒業後に4年制大学や短期大学への進学を希望している人を対象に、進学したい分野や学校が具体的に決まっているかどうかを尋ねた。「分野」と「学校」のそれぞれについて、「決まっている=3」「おおまかに決まっている=2」「決まっていない=1」から単一回答形式で回答を求めた。この質問は全ての回答を分析に用いた。

③真剣に考えている入試方法

4年制大学への進学を希望する人を対象に、最も真剣に考えている入試方法を「一般入試」「指定校推薦入試」「公募推薦入試」「AO入試」から単一回答形式で回答を求めた。分析では、「一般入試」「指定校推薦入試」

「その他の入試」にまとめた。この質問は第3回の回答のみを分析に用いた。

④学内の友人の進学準備行動

学内の友人の学習や進路への取り組みについて尋ねた。学校の中の友人が「勉強をがんばっている」「高校卒業後の進路についてよく考えている」「将来就きたい職業についてよく考えている」の3項目に該当するかを、「あてはまる」「あてはまらない」「わからない」から単一回答形式で回答を求めた。この質問は第3回の回答のみを分析に用いた。

⑤学内友人との学習

部活の仲間や友人と塾以外の場で一緒に学習するかどうかについて尋ねた。「ふだん」「テスト前一週間/テスト期間中」のそれぞれについて、「ない」「ある/自主的に」「ある/先生・学校の提案・場の提供で」から単一回答形式で回答を求めた。分析では、「ある/自主的に」と「ある/先生・学校の提案・場の提供で」をまとめた。この質問は第3回の回答のみを分析に用いた。

⑥学外の友人の進学準備行動

違う高校に進学した中学時代の友人や塾の友人など、学外の友人との付き合いについて尋ねた。学内の友人の進学準備行動の3項目を提示し、該当する学外の友人と「付き合いが多い」か「付き合いはない/あまりない」かを、単一回答形式で回答を求めた。この質問は第3回の回答のみを分析に用いた。

⑦塾の利用

学外の友人と出会う場の1つとして、塾の利用状況について尋ねた。現在、「塾に通っている」か「塾に通っていない」かを、単一回答形式で回答を求めた。この質問は第3回の回答のみを分析に用いた。

3 結果

3.1 学習時間の変遷による生徒の分類

第1回から第3回の学習時間の平均値を表1に示す。生徒全体のふだんの学習時間の平

表1 学習時間の平均値

	こつこつ (N=440)		めりはり (N=584)		平均 (N=314)		無勉強 (N=345)		全体 (N=1683)	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
第1回ふだん	3.40	0.67	2.26	0.80	2.47	0.82	1.66	0.77	2.48	0.98
第1回テスト期間	5.10	0.81	4.98	0.76	4.34	0.84	3.34	1.02	4.56	1.08
第2回ふだん	3.09	0.75	1.72	0.65	1.67	0.61	1.50	0.67	2.02	0.93
第2回テスト期間	5.18	0.80	5.08	0.76	3.63	0.89	3.61	0.98	4.53	1.12
第3回ふだん	3.13	0.91	1.51	0.64	1.94	0.71	1.31	0.58	1.98	1.02
第3回テスト期間	5.54	0.73	5.69	0.56	5.10	0.74	3.81	1.33	5.15	1.11

表2 希望進学先の決定の程度の平均値

	超早期 (N=141)		早期 (N=263)		標準 (N=570)		未決定 (N=212)		全体 (N=1186)	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
第1回分野	2.80	0.44	2.44	0.61	1.80	0.49	1.40	0.50	1.99	0.68
第1回学校	2.30	0.74	1.23	0.43	1.16	0.39	1.03	0.18	1.29	0.57
第2回分野	2.77	0.46	2.40	0.52	2.07	0.37	1.19	0.40	2.07	0.63
第2回学校	2.35	0.72	1.38	0.58	1.21	0.41	1.00	0.07	1.34	0.61
第3回分野	2.73	0.46	2.76	0.43	2.31	0.49	1.73	0.69	2.35	0.63
第3回学校	2.53	0.60	2.56	0.55	1.66	0.50	1.48	0.59	1.93	0.70

均値は、第1回のみやや高いものの、いずれの調査でも30分(=2)付近であった。一方、テスト期間の学習時間の平均値は、2時間半程度(第1回と第2回)から3時間程度(第3回)に増加していた。

次に学習時間に基づき生徒を分類するために、学習時間の6項目を用い、ウォード法のクラスター分析を実施した。各クラスターの意味的なまとまりや人数等を考慮し、4クラスターの結果を採用した(表1)。第1の「こつこつ」群は、平日、テスト期間ともに学習時間が多かった。第2の「めりはり」群は、平日の学習時間が少ないものの、テスト期間の学習時間が多かった。第3の「平均」群は、「めりはり」群の学習時間と比較して、平日がやや多い反面、テスト期間がやや少なかった。第4の「無勉強」群は、平日、テスト期間ともに学習時間が少なかった。

3.2 希望進学先の決定時期による生徒の分類

第1回から第3回の希望進学先の平均値を表2に示す。生徒全体で見ると、1年時(第1回と第2回)には、希望の分野のみがおおまかに決まっていた。2年時(第3回)にな

ると、分野の希望がさらに明確になり、希望の学校もおおまかに決まっていた。

次に希望進学先の決定時期に基づき生徒を分類するために、希望進学先の6項目を用い、ウォード法によるクラスター分析を実施した。各クラスターの意味的なまとまりや人数等を考慮し、4クラスターの結果を採用した(表2)。第1の「超早期」群は、1年1学期に希望の分野も学校も決まっていた。第2の「早期」群は、1年1学期に分野が、2年2学期に学校が決まっていた。第3の「標準」群は、2年2学期に分野が決まっていたが、学校は未定であった。第4の「未決定」群は、2年2学期の時点で分野も学校も決定していなかった。

3.3 学習時間の変遷と友人関係

学習時間の変遷と学内外の友人や希望する入試方法との関連を検討するために、群ごとに各回答への割合を算出した(表3)。さらに全体的な特徴を明らかにするために、表3のクロス表にもとづいて多重対応分析を実施した。寄与率は1軸が0.66、2軸が0.28であった。1軸のスコアを横軸、2軸のスコアを

縦軸とした二次元平面上にプロットした結果を図1に示す。1軸は「こつこつ」群と「無勉強」群とを識別しており、2軸は「めりはり」群と「無勉強」群とを識別していた。

図右側の「こつこつ」群の周辺には、「塾の利用」「学内友人とのふだんの学習」がプロットされていた。図下側の「めりはり」群の周辺には、「指定校推薦入試」「その他の入試」「学内友人とのテスト期間の学習」がプロットされていた。学内外の友人の進学準備行動に関する項目は、「こつこつ」群、「平均」群、「めりはり」群の中間（図右下）にプロットされていた。図左上の「無勉強」群の周辺には、進学準備行動が進んでいる学内外の友人の不在を表す項目と「一般入試」がプロットされていた。

3.4 希望進学先の決定時期と友人関係

希望進学先の決定時期と学内外の友人や希望する入試方法との関連を検討するために、群ごとに各回答への割合を算出した（表4）。さらに全体的な特徴を明らかにするために、表4のクロス表にもとづいて多重対応分析を実施した。寄与率は1軸が0.79、2軸が0.14であった。1軸のスコアを横軸、2軸のスコアを縦軸とした二次元平面上にプロットした結果を図2に示す。1軸のスコアは、決定時期が早いほど減少していた。一方、2軸は「早期」群と「超早期」群とを識別していると考えられる。

図右側の「未決定」群の周辺には、進学準備行動が進んでいる学外友人の不在を表す項目と学内友人の進学準備を知らないことを表す項目がプロットされていた。図下側の「早期」群の周辺には、「塾の利用」と進学準備行動が進んでいる学内友人の不在を表す項目がプロットされていた。図左上の「超早期」群の周辺には、進学準備行動が進んでいる学内外の友人の存在を表す項目と「学内友人とのふだんの学習」がプロットされていた。

表3 学習時間の変遷群ごとの特徴

		こつこつ	めりはり	平均	無勉強	
希望する入試		一般入試	65%	56%	63%	72%
		指定校推薦入試	24%	29%	21%	16%
		その他の入試	11%	15%	16%	13%
ば勉強 てを いがる ん	学内 友人	あてはまる	68%	66%	70%	55%
		あてはまらない	13%	14%	13%	23%
		わからない	19%	20%	18%	22%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	55%	47%	47%	40%
		付き合いはない ／あまりない	45%	53%	53%	60%
		あてはまる	59%	57%	59%	52%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまらない	11%	11%	12%	16%
		わからない	30%	32%	29%	32%
		付き合いが多い	42%	36%	38%	32%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いはない ／あまりない	58%	64%	62%	68%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
		あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	わからない	42%	42%	39%	42%
		付き合いが多い	45%	46%	43%	38%
		付き合いはない ／あまりない	55%	54%	57%	62%
高 校 の 進 路 後	学内 友人	あてはまる	43%	45%	40%	38%
		あてはまらない	15%	14%	21%	19%
		わからない	42%	42%	39%	42%
高 校 の 進 路 後	学外 友人	付き合いが多い	45%	46%	43%	38%

高校生の進学準備行動と学内外の友人関係

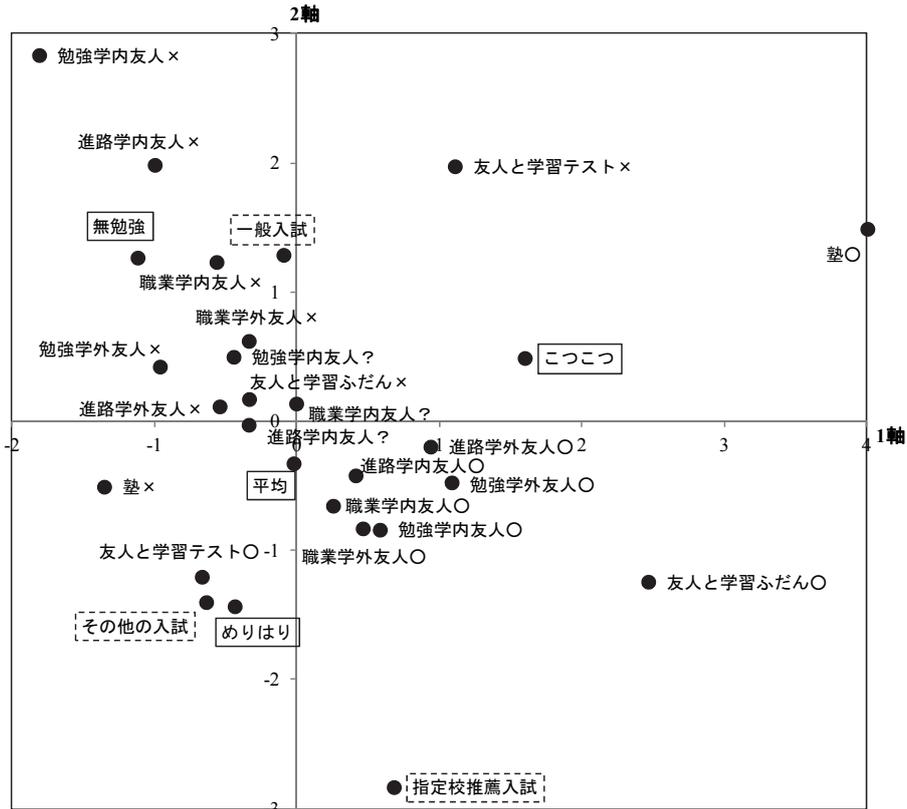


図1 学習時間の変遷と学内外の友人関係との関連 (多重対応分析の結果)

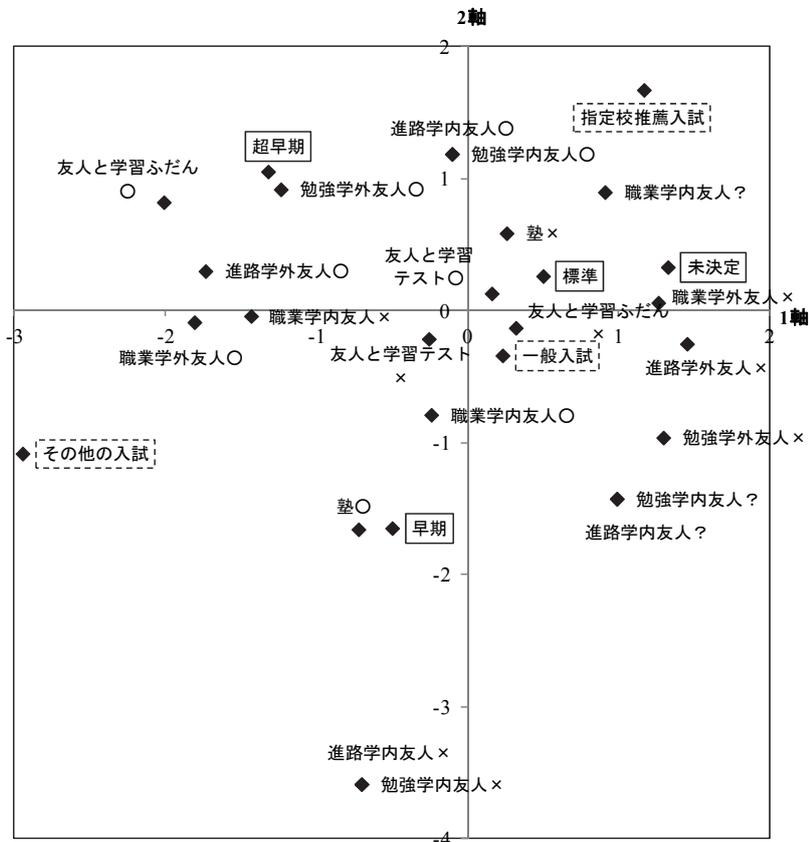


図2 希望進学先の決定時期と学内外の友人関係との関連 (多重対応分析の結果)

4 考察

4.1 進学準備の進んでいない高校生の特徴

学習時間が最も少ない「無勉強」群は、2年2学期の学習時間が、ふだんで30分未満、テスト期間でも2時間程度であった。また希望進学先が「未決定」の群は、2年2学期の時点でも分野も学校も決定していなかった。進学準備の進んでいない2つの群の高校生には、3つの共通する特徴が見られた。第1に、友人の進学準備状態を知らず、進学準備の進んだ友人も少なかった。第2に、一般入試を希望する割合が高かった。第3に生徒の2割ほどを占めていた。以上から進学中堅校の生徒の2割ほどは、進学準備に向けた具体的な行動をしていないが、一般入試で大学に進学することを漠然とイメージしており、その友人も類似した状態と考えられる。

4.2 学習時間の多い高校生の特徴

ふだんもテスト期間も学習時間が長い「こつこつ」群は、4割ほどが塾を利用しており、学内の友人との学習をふだんは多くするものの、テスト期間になると他の群よりしていなかった。一方「めりはり」群は、ふだんはほとんど学習しないものの、テスト期間になると友人との学習などによって学習時間を大幅に増加させていた。また、両群とも進学準備が進んでいる学内外の友人が多かった。

以上より「めりはり」群は学内に、「こつこつ」群は学内外に、進学準備を進めている友人がおり、それらの友人を役立てながら、進学準備を進めていると考えられる。

4.3 希望進学先を早期決定した高校生の特徴

「早期」群の高校生は、希望の分野は1年1学期から決まっているものの、学校の希望は2年2学期に決まり、学内の友人の準備があまり進んでいないと考えていた。本人が希望する進路について考えているからこそ、学内の友人を準備不足と感じたと推測される。

一方、決定時期が最も早い「超早期」群は、全体の1割ほどと少数であった。1年1学期に希望の分野も学校も決まっており、学内外に進学準備の進んだ友人が多かった。明確な目標を持って高校に入学し、そのような友人と交流し続けていると推測される。

4.4 まとめと今後の課題

本研究の結果から、高校生は学習行動や進学先の決定などの進学準備の状態が似た友人を多く持ち、互いに影響を与え合いながら準備を進めるとまとめられる。ただし、本研究は、進学中堅校の2年2学期までのデータを分析した結果である。より多くの生徒が進学準備を行う進学校や準備が本格化する3年以降での分析、さらには性別や部活への参加など生徒の状況も考慮した分析を今後進める必要がある。

参考文献

- Benesse 教育研究開発センター (2013). 『高校データブック2013』 Benesse 教育研究開発センター.
- 渕上克義 (1984). 「進学志望の意思決定過程に関する研究」 『教育心理学研究』 **32**, 59-63 .
- 濱中淳子・山村滋・鈴木規夫 (2014). 「高校一年次の学習時間：そのばらつきと背景を探る」 『大学入試研究ジャーナル』 **24**, 15-20 .
- 清水和秋・坂柳恒夫 (1988). 「進路不決断と進路成熟：父親，母親，友人，教師の影響に関する高校生の横断的な研究」 『進路指導研究：日本進路指導学会研究紀要』 **9**, 28-36 .
- 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター (2007). 『高校生の進路追跡調査 第1次報告書』 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター.